

# DAWN 通信

第15号

2013. 1

## ★特集1

東日本大震災被災地支援事業

どーんといこう 東北！今春も開催

—いわて・みやぎ・ふくしま— ②

## ★特集2

アメリカのNGO 訪問記 ③

■ピックアップ ③

■イコーラム情報／賛助会のご案内 ④

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる真に豊かな社会の実現に貢献します。

## 光が見えてくる年に

今年こそ、未来に光が見えてくる年になってほしい。平成25(2013)年の年明けを迎えた私たちの切なる願いです。こう言うと「日本はダメだ、希望がないというのは、いつの時代にもある思い過ごし」と異論をさし挟まれるかも知れませんが、こと男女共同参画に関しては「思い過ごし」では片付けられない数字を私たちは突きつけられています。

スイスに本部を置く民間団体「世界経済フォーラム」が昨年10月に発表した2011年版「男女格差指数」報告によると、日本の男女平等の度合いは調査対象135カ国の中で101位でした。前年の98位からさらに下がり、先進諸国の中で最低ランクです。日本女性の健康状態や教育レベルは高いのに、経済や政治分野への進出は大きく遅れている、という評価です。

同じ10月に、IMF(国際通貨基金)は日本で開いた年次総会で、「日本経済の低迷を救うカギは女性の活用」という趣旨の緊急提言を発表しました。

私たち財団は、こうした国際評価を念頭に置きながら、女性の就労支援や貧困の克服、暴力の根絶、男女共同参画の視点による被災者支援といった足元のテーマに着実に取り組んでいくのが使命と考えています。財団の中期経営プランで掲げているスローガンは「明るく元気な大阪のために」「女性も男性も、子どもも高齢者も、すべての人が生きやすい男女共同参画社会づくりのために」の2つです。年頭にあって、このスローガンの意味を改めてかみしめ、引き続き多様な事業を展開してまいります。

みなさんの一層のご理解、ご協力をいただければ幸いです。



## いわて、みやぎ、ふくしまから 東北女性の手仕事物産展 今春も開催

当財団は、平成23年度から、内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」を受託し、事業を通して東北3県の女性団体との交流・ネットワークができました。これを活かし、大阪から被災地を応援するため2012年9月15、16日、ドーンセンターで東北女性の手仕事物産展「どんと東北！いわて・みやぎ・ふくしまから」を開催し、2日間で延べ約1,000人のみなさんに来場、お買い上げいただきました。岩手、宮城、福島三県の女性グループをはじめ21団体と個人1人から寄せられた食品からアクセサリ、雑貨まで91品目を出品しました。いずれも被災した女性たちのグループや仮設住宅に住む高齢女性のみなさんが手作りした、こだわりの品々です。

この春に第2回を開催いたします。被災地より、さらに多くのこだわりの品をご紹介します。是非、ご来場ください。

財団は、被災地支援に息長く取り組んでまいります。



浪江花の会  
大橋理典刺し子プロジェクト



### 東北地方の視察に 同行して



白井 文

(一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団理事)

被災地の電話相談拠点を回り、相談の現場を確認する旅に同行しました。

全国各地から集まってくださった相談員さん達は、東北地方の女性の悩みに寄り添い、丁寧な対応をして下さっていましたが、拠点ごとに運営の状況や特徴的な課題が同じでないことを知りました。しかし当財団が提案した相談ルールは、大変優れていて助かっている、との評価が印象的でした。長年に亘る経験と実績のなせる技です。

短期的に見れば、「苦勞」かもしれませんが、そこから学び、乗り越えることで人も組織も成長できることを再認識しました。

被災地の相談事業により、女性の活動グループの育成やネットワークにプラスの効果が生まれてきていることも嬉しいことでした。

# アメリカのNGO訪問記

2012年11月末、アメリカのデンバー（コロラド州）で、さまざまな困難を抱える女性たちの自立、就労をサポートするNGOを訪問しました。（財団統括ディレクター 仁科あゆ美）

## Work Options For Women

シングルマザーの女性たちが料理技術の訓練を受け、レストランやカフェなどに就職し、自立していくことを支援するNGOです。



エグゼクティブディレクターのキャサリンさん（デンバー市内のカフェ・オプションで）

「今まで民間の食品業界で働いてきました。この経験やネットワークを活かしてNGOを運営しています」

## Women's Bean Project

刑務所から出所した女性が、生活スキルを学び、自立していくための就労支援NGOです。



豆スープセットやクッキーミックスなどの包装作業をし、全国に販売しています。



### ★デンバー

デンバーは、コロラド州の州都。ロッキー山脈の麓に位置します。

アメリカ合衆国

メキシコ

## Dress for Success

女性の就職を応援するNGOです。



スーツや靴・鞄は働く女性や企業からの寄付。メイクやヘアカットも。

ドレスアップで変身し、自分に自信をもって、就職試験を乗り切るよう支援します。



イタリアンソーセージの温かいサンドイッチ



訓練終了生が働くカフェは、オフィス街の一角にあり。ランチタイムは近所で働く人たちでいっぱい。

\*今年、これらのNGOを訪問するスタディツアーを実施する予定です。

## ピックアップ

### 「関西女の労働問題研究会」からの寄附を活用した事業

平成23(2011)年、「関西女の労働問題研究会」から当財団に寄附金をいただきました。長年にわたって関西において、理論と運動の双方から女性労働問題に取り組んでこられた「関西女の労働問題研究会」の活動趣旨を反映し、女性の就労支援及び女性労働問題研究の今後の展開に繋がる事業のために、以下のように寄附金を活用させていただきます。（財団統括ディレクター 木下みゆき）

#### 女性の就労支援や職場での課題解決に役立つDVDの購入

当財団が受託実施している母子家庭のお母さん等を対象とした職業訓練プログラムへの参加者をはじめ女性の就労支援や、男女平等の職場づくりを目的とした研修等に役立つDVDを購入させていただきました。

情報ライブラリー「女性就労支援コーナー」でご利用いただけます。

#### ドーンセンター情報ライブラリー「竹中恵美子文庫」を活用したイベント

当ライブラリーでは、女性労働研究の第一人者である竹中恵美子氏が長年の研究活動に用いた資料の寄附による「竹中恵美子文庫」を開設しています。このたびの寄附金を活用して、『竹中恵美子著作集完成記念シンポジウム：竹中理論の意義をつなぐ』を共催させていただきます。

- 日時：平成25年2月2日（土）13：30～16：45
- 場所：ドーンセンター パフォーマンススペース（1階）
- シンポジウム「竹中理論の意義と継承発展を語る」  
\*シンポジスト：久場嬉子（東京学芸大学名誉教授）  
北明美（福井県立大学教授）  
松野尾裕（愛媛大学教授）

- \*コーディネーター：伊田久美子（大阪府立大学教授）
- 主催：「フォーラム 労働・社会政策・ジェンダー」  
「竹中恵美子著作集刊行委員会」

平成 24 年度イコーラムフェスタを開催します！

平成 25 年 2 月 23 日(土)・24 日(日)



当財団が管理運営を受託している東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムでは、平成 25 年 2 月 23 日(土)・24 日(日)の両日、午前 10 時から午後 4 時まで「平成 24 年度イコーラムフェスタ」を開催します。このフェスタは、日頃イコーラムを拠点として男女共同参画の理念に基づき活動している登録団体 23 団体と市民の立場からイコーラムの事業を推進している 13 人の事業推進委員が協働で企画し運営する催しです。

今年度のテーマは「集まって つながって 広げよう 笑顔の輪」。2 日間ともイコーラム全館を使って、登録団体によるいろいろなワークショップや活動内容を紹介するパネル展示を行います。

また、ホールでは、23 日(土)の午後には故・岡八朗さんの長女でゴスペルシンガーの市岡裕子さんによる「人生あきらめたらあかん！～希望を持って生きる～」と題した講演、翌 24 日(日)には、イコーラムの講座受講生のネットワークから実現した、童謡やフォーク、懐かしの歌などを会場の皆さんと一緒に歌う催し「みんなで歌おう！」などを開催。

さらに、親子で楽しんでもらうよう子ども向けビデオの上映やギャラリに子どものための広場を設け、本の読み聞かせや伝承遊びを行うほか、乗って遊べるミニ電車・SLなども走らせます。

喫茶コーナーでは仕事イキイキ講座修了生による趣向を凝らしたカフェがオープンします。

このほか、関連企画として昨年度に引き続き「笑顔」の写真を公募し、期間中展示して人気投票を行い「笑顔大賞」「笑顔賞」を決定します。

このイコーラムフェスタが、より多くの方にイコーラムを知ってもらい、さらに楽しみながら男女共同参画をより身近なものとして感じてもらいよい機会となつて、男女共同参画社会実現のための更なる一歩となることを期待しています。

賛助会員募集中！

当財団は平成 6 (1994) 年の設立以来、ドーンセンターを拠点に、男女共同参画社会の実現をめざして大阪府からの受託をはじめ、財団自主事業を展開しています。例えば、働く女性のためのセミナー、男性のための講座、行政や学校教員を対象とした研修、職場における女性活躍推進等、企業で研修を企画される際の情報相談や資料の貸し出し、女性のメンタルヘルス支援事業等を実施しております。(詳しくはホームページ <http://www.ogef.jp/> をご参照ください。) 私たちとともに豊かな男女共同参画社会を築いていきませんか。

\*\*\*\*\*

【年会費】(4 月から翌年 3 月までの年度制となります)

- ・個人 一口 3 千円
- ・団体 企業等 一口 1 万円
- 非営利団体 一口 5 千円

【振込先】〈郵便振替口座〉 00900-9-155214

口座名 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団  
 〈振込先口座〉 りそな銀行 大手支店 普通 1632615  
 口座名義 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

☆通信欄に「賛助会員 年会費(口数)」と、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレス、お名前公表の可否をご記入ください。

【会員の特典】

- ・財団が発行する定期刊行物の無料配布
  - ・財団指定の主催セミナー講習会等の参加費割引
  - ・財団主催の文化芸術事業(映画等)を賛助会員価格にてご案内
  - ・賛助会員交流懇談会等への無料招待
- (賛助会員の方は、財団ホームページにお名前を掲載いたします。ただし、ご希望により匿名も可能です。)

例えば...

「ドーン・シネマクラブ」  
ご鑑賞の場合

一般 1,300 円  
 → 賛助会員 1,000 円

当財団主催講座を  
ご受講の場合

一般 20,000 円  
 → 賛助会員 18,000 円  
 (講座によって受講料が異なります。上記金額は一例)

喫茶ゆいまーる  
(ドーンセンター 1F)

- ランチタイム 10%OFF  
(ランチセット) 一般 850 円  
→ 賛助会員 765 円
- ティータイム 20%OFF  
(ケーキセット) 一般 700 円  
→ 賛助会員 560 円
- (コーヒー) 一般 350 円  
→ 賛助会員 280 円

などの特典があります。

財団に関する最新情報は、ホームページでご案内しています。→ <http://www.ogef.jp>

ogef

編集・発行 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 ニュースレター編集部  
 〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-49 ドーンセンター 3F  
 TEL: 06-6910-8615 FAX: 06-6910-8624  
 E-mail: info@ogef.jp <http://www.ogef.jp/>

発行日: 平成 25 (2013) 年 1 月 1 日